
星と月と

みなみ緋奈

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

星と月と

【Nコード】

N0601Y

【作者名】

みなみ緋奈

【あらすじ】

輝きを求めて、伴侶を求めて、という感じで
書いてみました
<他掲載あり>

僕は思っていた。

都会でも、夜空を見れば、月に照らされ星は輝きを放っている。

地上の星に負けずに。

人の数程、星はあると言う。

ならソコに僕の星はあるのだろうか。

そして輝いているのだろうか。

地上にいる僕は、輝けないでいるけど。

空の星の様に、僕を照らしてくれる月は、いるのだろうか。

出逢いは、偶然なのか、必然なのか、運命なのか。

僕は君に出逢った。

僕の月。

君に出逢って、僕は輝ける様になった。

でも、気付いたんだ。

それは我が侘だったと言う事に。

僕は君の月にならないといけなかったんだと。

君も月を探していたんだと知ったから。

そして、月はどこにもないんだと。

誰もが星で、誰もが月なんだと。

気付くのが少し遅れたけど、

僕は、君の月になれただろうか。

言葉で聞きたい

でも気恥ずかしくて出来ない。

だから、手を握るよ。

握り返された手から、君の波が、穏やかに身体に駆け巡る。

そして、僕に優しく微笑む君。

互いの手は、昔と違って少し小さくなったけど、

空に帰るその日まで、僕は君を照らし続けるから。

僕だけの星。

僕だけの月。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0601y/>

星と月と

2011年10月30日20時19分発行